

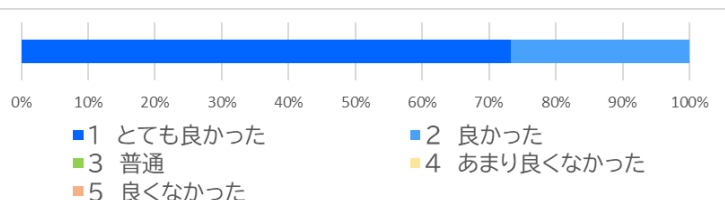
# 富岡地区円卓会議「自分ごとで考える“地域の居場所づくり”」 第3回アンケート結果

令和5年11月11日実施分

回答結果：参加者 21人 回答者 16人(回答率 76%)

## 1 富岡地区円卓会議に参加してみてもいかがでしたか。《回答15件》

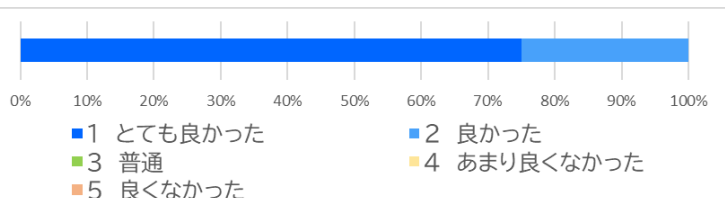
| 回答          | 件数  | 割合    |
|-------------|-----|-------|
| 1 とても良かった   | 11  | (73%) |
| 2 良かった      | 4   | (27%) |
| 3 普通        | 0   | (0%)  |
| 4 あまり良くなかった | 0   | (0%)  |
| 5 良くなかった    | 0   | (0%)  |
| 合計          | 15件 |       |



## 2 職員の進行はいかがでしたか。

### (1)全体コーディネーター《回答16件》

| 回答          | 件数  | 割合    |
|-------------|-----|-------|
| 1 とても良かった   | 12  | (75%) |
| 2 良かった      | 4   | (25%) |
| 3 普通        | 0   | (0%)  |
| 4 あまり良くなかった | 0   | (0%)  |
| 5 良くなかった    | 0   | (0%)  |
| 合計          | 16件 |       |

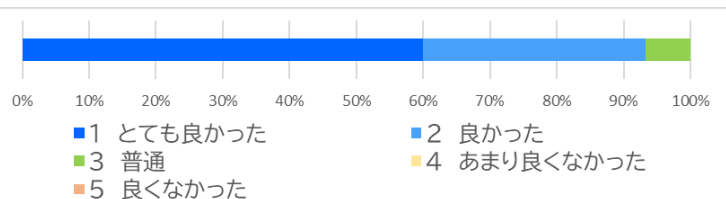


### ▼理由

- 会議が、目的にそって意見がうまくまとめられた。
- 論点を共有した上で話し合えたので、話が脱線することがなかった。
- 短時間の発言をかみくだいてわかりやすく文字化し、各班の話し合った内容が、とてもよくわかりました。
- 具体例を用いながら進行してくださったから。
- 進行内容の説明が分かりやすかった。
- 専門家的な人がおり、勉強になった。
- 要点の把握と誘導。
- 理解が良く出来た。
- 進みがよかった。
- 楽しかった。
- 話術がすばらしい。
- 全員が平均的に話せた。
- 話し方がよかった。
- 声も大きく、わかりやすかった。

## (2)グループファシリテーター《回答15件》

| 回答          | 件数  | 割合    |
|-------------|-----|-------|
| 1 とても良かった   | 9   | (60%) |
| 2 良かった      | 5   | (33%) |
| 3 普通        | 1   | (7%)  |
| 4 あまり良くなかった | 0   | (0%)  |
| 5 良くなかった    | 0   | (0%)  |
| 合計          | 15件 |       |



### ▼理由

- 自分自身が発言したまとまりのない話でも上手に簡潔にまとめてくれました。
- いくつかの課題に分類して論点を明確にして話し合いを進行して下さったから。
- 自身の経験と意思も含め、取りまとめの工夫。
- 良く学習しています。
- スムーズに話し合いを進めた。
- 楽しかった。
- 聞き上手。
- 話し方がよかった。
- すぐ文字に変え記入していた。
- 全員に話をふっていた。
- 進行がスムーズに行った。

## 3 会議全体についての感想、印象に残ったこと、次回に向けての要望など、ご自由に記入してください。《回答13件》

### 自身の变化、会議を通して発見したこと

- 障がい者の事が身近に感じられるようになってきた。対応についても考えられる様になって来た。
- 初めて話し合いに加わりましたが、自分の狭い考えだけでは想像もつかない案が出ることに感心かありませんでした。アイデア、発想が皆さん幅広いことに感動しました。
- 昔あったことと今を比較しながらグループでの話し合いが進んでいったので良かった。同じグループに同世代の人がいて、他校について知らなかったので知ることができて良かった。
- “地域で子育てを応援する雰囲気醸成されていない”という課題に対し、参加者の一人が地域で生活しやすいルール作りを意見で出して下さいました。「自宅の樹木の整備」や「道路に物は置かない」など、一人ひとりが節度を守って生活することが子育て世代への応援にも繋がるし、地域力の向上にもなると改めて思いました。
- 思いやりのある地域で子育てしたいと感じました。今子育てをしている方がいてとっても良かったです！！当事者の話は大切だなと思います。
- 特別支援学校に勤務しだしたときからコロナ禍でイベントがとまったり、地域との交流がとまっていたりなくなっていたりしたので、あまり「地域に開かれた学校」という意識がなかった。しかし今回地域の方と交流したことにより、障がい者と地域の方が交流することで、障がい者及びその家族も居場所ができたり、地域の人にも本人やうまれてくる子ども、家族が障がい者になったときに、障がい者の生活や実態を知っていることにより過度な不安を取りのぞくことができるのではないかと思います。
- 障がい者のマークが多くあることを知れた。
- 地区をよくしたいと思っていることがよく分かった。
- 地区のことをよく分かっている人、知らない人の差が大きいと感じた。

#### 会議の進行や構成に関すること

- 区長だけではなく、市の福祉課の意見、特別支援学校の先生の意見もあり、高度な話し合いができた。
- 発表に対して最後にまとめの時間があるので、参加者自身、議論の振り返りができてありがたい。まとめが素晴らしい。
- 近い年の人がしてよかった。気楽に発言できた。
- 高校生増やしてほしいです。発言がしやすかった。
- 時間が長い。メリハリがない。

#### テーマ・課題に関すること

- 出席した若い2人からは(若者の意見を)聞けた。が、何の問題で若者・単身者・独身者が集まらないのか。若者(学生・未婚者等)だけで円卓会議を計画したらと思います。
- 高齢者…イベントを増やす。  
子育て…掃除、洗濯、食事の軽減。あいさつが大事。街灯の整備。食事の栄養バランスを手軽に出来るシートを作ったら良いと考えた。広報にて栄養相談を行う。
- 高齢者の居場所は少ないが、地域においてはマージャン、グラウンドゴルフ、野菜づくりと身近なところから誰でも参加できる。又、高齢者個人の特技の伝達・教える、皆さんに楽しんでもらえることもいい案件だと思います。